

令和4年度「地域年金展開事業」取り組み結果

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

東北福島年金事務所
(福島県代表年金事務所)



日本年金機構

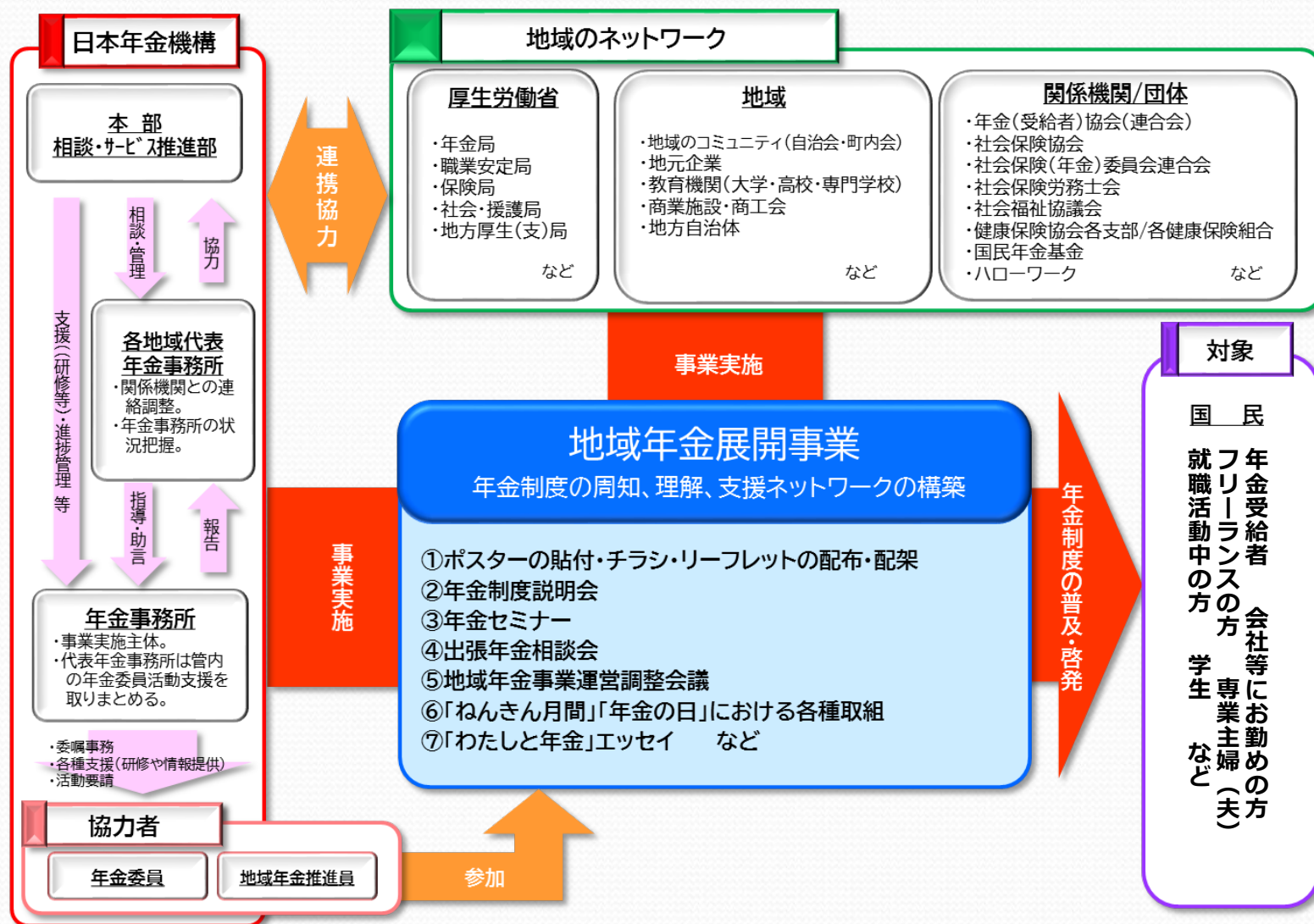
Japan Pension Service

目 次

1	地域年金展開事業の概要	2
2	令和4年度の取り組み結果	4
	(1) 地域連携事業	
	(2) 年金セミナー事業	
	(3) 地域相談事業	
	(4) 年金委員活動支援事業	
	(5) 地域年金事業運営調整会議	
3	「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	22
4	マスコミでの取り上げ状況	23
5	県内各年金事務所の主な取り組み状況 (東北福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河)	24
6	各事業における総括	30

1 地域年金展開事業の概要

公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとって、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解、支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題であり、年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、それぞれの地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」(地域年金展開事業)を実施しています。



〈地域年金展開事業の主な取り組み〉

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。
- ◆なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮した取り組みを実施しています。

《本来の取り組み内容》

《コロナ禍での取り組み内容》

地域連携事業	・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。 ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。	→	・アプローチは原則、電話・文書により行う。 ・制度説明会や年金セミナーは、Web会議ツール等を使用した非対面型(リモート)による実施を基本とするが、相手先機関から要請があり、当該機関における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が可能な場合は、対面での開催を可能とする。なお、年金セミナーでは解説付き動画(DVD)配布による実施も有効である。
年金セミナー事業	・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。 ・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。	→	
地域相談事業	・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。	→	・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで実施。ただし、地域によって感染状況が異なることから、実施の可否については、各地の実情を踏まえて慎重に判断。
年金委員活動支援事業	・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。	→	・原則、電話・文書による活動。対面による場合は感染防止対策を徹底。
地域年金事業運営調整会議	・制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う公的年金事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。	→	・委員長および委員の過半数より要請があった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで対面開催も可能とする。対面開催が困難な場合は書面開催。

2 令和4年度の取り組み結果

(1) 地域連携事業

① 年金制度説明会の実施状況

年金制度の正しい知識や手続き、制度改正等の情報を地域において周知するため、自治体や各関係機関・団体と協力して下記のとおり年金制度説明会を実施しました。

Web会議ツールを使用したオンラインでの制度説明会を積極的に実施しており、令和4年度は191回2,805名のうち59回392名に対して、オンラインでの制度説明会を実施しました。また、地域FMを利用した制度説明についても継続的に行っています。

事務所	企業・団体等		自治体・公的機関等		社会保険協会・委員会等		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東北福島	13回 5回	350名 298名	22回 10回	158名 182名	4回 4回	118名 75名	39回 23回	626名 621名
郡山	7回 8回	346名 366名	13回 7回	154名 108名	11回 7回	273名 104名	31回 23回	773名 623名
平	11回 2回	230名 162名	7回 4回	66名 116名	1回 —	12名 —	19回 7回	308名 303名
会津若松	33回 19回	448名 330名	21回 9回	96名 93名	4回 1回	76名 10名	58回 29回	620名 433名
相馬	10回 2回	207名 106名	10回 3回	34名 22名	3回 —	56名 —	23回 6回	297名 134名
白河	14回 6回	103名 112名	4回 6回	36名 46名	3回 1回	42名 16名	21回 14回	181名 199名
合計	88回 42回	1,684名 1,374名	77回 39回	544名 567名	26回 13回	577名 205名	191回 102回	2,805名 2,313名

※ 青字は令和3年度実績。

※ 合同開催は各年金事務所において、実施回数及び人数を計上。

② 社会保険労務士会の研修会への講師派遣

福島県社会保険労務士会が主催する研修会へ講師を派遣して、会員の方々に対して対面及およびWeb会議ツールを使用し、制度研修会を行いました。

事務所名	実施機関	研修内容	受講者数
東北福島	福島県社会保険労務士会	社会保険の電子申請について	50名
東北福島	福島県社会保険労務士会 福島支部	算定基礎届及び産休・育休制度にかかる 保険料免除について	20名
郡山	福島県社会保険労務士会 郡山支部	電子申請の推進について	30名
平	福島県社会保険労務士会 いわき支部	年金制度改正法について	25名
会津若松	福島県社会保険労務士会 会津若松支部	電子申請の推進について	11名

③ 年金受給説明会への講師派遣

年金受給者協会主催の年金受給説明会において、これから年金を請求される方、すでに年金を受給されている方を対象に制度説明を行いました。

開催日	開催場所	研修内容	受講者数
令和4年11月26日(土)	郡山市	「年金請求の流れと手続きについて」 「令和4年度 年金制度改正について」	19名

④ ねんきんネットの利用促進にかかる取り組み

オンラインでいつでも年金記録を確認できる「ねんきんネット」利用者の拡大に向けて、周知・広報に関する協力要請を行いました。

- 年金委員(職域型・地域型)への周知用リーフレットの配布依頼。
- 市町村へ、国民年金関係窓口やマイナンバーカード発行窓口への周知用リーフレットの配布依頼。
- 福島県商工会議所連合会および福島県商工会連合会(県内88商工会)へ、窓口等でのリーフレット設置依頼。
- 地域FMを活用して、ラジオ内で「ねんきんネット」の利用を案内。
- 福島県社会保険協会発行の広報誌「社会保険ふくしま」内に記事掲載を依頼。

⑤ 若年層に向けた公的年金制度の周知・広報

令和4年5月からマイナポータルを利用した国民年金の加入手続き・保険料免除申請等の電子申請が始まり、令和5年2月からは国民年金保険料について、新たにスマートフォンアプリを使用した電子決済での納付が利用できるようになりました。

こうしたサービスをわかりやすく周知するための取り組みを行っています。

- 市町村の成人式において、学生納付特例制度等のチラシを配布。
- 20歳到達者向けの制度説明を実施。
- 日本年金機構ホームページやTwitterによる情報発信。

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者	自治体・公的機関等	受講者	社会保険協会・委員会等	受講者
東北福島	・福島県社会保険労務士会福島支部研修会 ・新規適用事業所事務説明会(6回) ・福島医療生活協同組合制度説明会 ・管内事業所制度説明会(60代職員向け) ・福島県国際交流協会制度説明会(福島市) ・福島県社会保険労務士会研修会 ・社会保険事務講習会(福島市・二本松市)	20 20 15 8 10 50 227	・管内市町村新任事務担当者研修会(2回) ・管内市町村国民年金担当者研修会(2回) ・管内市町村等年金制度説明会(16回) ・退職準備セミナー(福島市) ・福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ - 制度説明会(受給者向け)	8 8 81 37 24	・福島県社会保険協会福島支部 - 理事・評議員会 ・福島県社会保険協会定時評議員会 ・福島社会保険委員会 制度説明会 (輝く女性のための研修会) ・福島社会保険委員会研修会	19 24 35 40
郡山	・新規適用事業所事務説明会(2回) ・郡山年金受給者協会 退職者向け制度説明会 ・福島県社会保険労務士会郡山支部研修会 ・社会保険事務講習会(管内3カ所)	8 19 30 289	・市町村新任担当者研修 ・管内市町村国民年金担当者研修会(10回) ・就職支援セミナー(ハローワーク郡山) ・退職準備セミナー(郡山市)	12 104 12 26	・郡山社会保険委員会理事会・研修会 ・社会保険協会郡山支部 - 理事会・評議員会 ・社会保険委員会定期総会・研修会 ・福島県社会保険協会郡山支部・郡山社会 - 保険委員会・年金セミナー(管内4カ所) ・年金委員研修会(管内4カ所)	20 11 52 87 103
平	・管内事業所 制度説明会(管内5カ所) ・新規適用事業所事務説明会(3回) ・福島県社会保険労務士会いわき支部研修会 ・いわき市小学校事務職員研修会制度説明会 ・社会保険事務講習会(いわき市)	55 7 10 18 140	・管内市町村国民年金担当者研修会(2回) ・管内市町村国民年金担当者研修会 ・管内市町村年金制度説明会(3回) ・退職準備セミナー(いわき市)	26 3 7 30	・平社会保険委員会	12

※ 青字はオンラインで実施
 ※ 受講者の単位は人数

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者	自治体・公的機関等	受講者	社会保険協会・委員会等	受講者
会津若松	・会津アピオPCスクール 制度説明会(7回) ・株式会社ワークスタイル 制度説明会 ・トコムOAスクール 制度説明会(5回) ・オノデラPCスクール 制度説明会 ・新規適用事業所事務説明会(9回) ・社会保険労務士会会津支部 研修会 ・わーくすたいる 制度説明会(5回) ・PCトレーニングセンター 制度説明会 ・福島県国際交流協会 制度説明会(会津若松市) ・PCセンター喜多方駅前 制度説明会 ・社会保険事務講習会(会津若松市)	105 12 63 11 30 11 64 13 7 6 126	・管内市町村新任国民年金事務担当者研修会 ・管内市町村国民年金担当者研修会(18回) ・管内市町村国民年金担当者研修会 ・退職準備セミナー(会津若松市)	4 63 9 20	・福島県年金受給者協会 会津若松支部 役員会 ・福島県社会保険協会 会津若松支部 役員会 ・会津若松社会保険委員会 研修会 ・会津若松社会保険委員会 研修会	6 8 33 29
相馬	・20歳到達者向け制度説明会(2回) ・管内事業所 制度説明会(管内3か所) ・福島県国際交流協会制度説明会(南相馬市) ・新規適用事業所事務説明会(2回) ・社会保険事務講習会(相馬市・南相馬市)	7 95 7 2 96	・管内市町村国民年金事務担当者研修会(6回) ・管内市町村国民年金事務担当者研修会 ・管内市町村新任国民年金事務担当者研修会 ・退職準備セミナー(南相馬市) ・管内市町村年金制度説明会	18 3 5 6 2	・職域型年金委員向け制度説明会(2回) ・相馬社会保険委員会研修会	34 22
白河	・新規適用事業所事務説明会(9回) ・20歳到達者向け制度説明会(3回) ・社会保険事務講習会(白河市・棚倉町)	15 5 83	・管内市町村国民年金事務新任担当者研修会 ・退職準備セミナー(白河市) ・管内市町村国民年金担当者研修会(2回)	11 18 7	・白河社会保険委員会 支部長・副支部長会議・研修会 ・福島県社会保険協会白河支部 評議員会・研修会 ・白河社会保険委員会 総会・研修会	10 7 25

※ 青字はオンラインで実施
 ※ 受講者の単位は人数

(2) 年金セミナー事業

① 教育機関における年金セミナーの実施

各教育関係機関のご協力をいただき、県内の対象校419校(※1)のうち、72校(84回)3,889名の学生・生徒に対して年金セミナーを実施しました。そのうち、Web会議サービスを使用したオンラインセミナーは3校(4回)で、動画(DVD)での実施は15校(15回)となりました。

(※1)内訳：公立・私立中学校(221校)、公立・私立高等学校(106校)、特別支援学校等(24校)、大学・専門学校(68校)

《教育機関別の年金セミナー実施状況》

事務所名	大学・専門学校		特別支援学校等		高等学校		中学校		合計	
	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数
東北福島	3校(6回) 4校(6回)	226名 228名	2校(2回) —	15名 —	7校(8回) 6校(7回)	659名 651名	3校(3回) 2校(2回)	183名 330名	15校(19回) 12校(15回)	1,083名 1,209名
郡山	6校(8回) 4校(7回)	230名 211名	2校(2回) 4校(4回)	21名 44名	10校(11回) 4校(6回)	538名 336名	5校(5回) 4校(7回)	180名 229名	23校(26回) 16校(24回)	969名 820名
平	3校(3回) 1校(1回)	207名 40名	1校(1回) —	7名 —	6校(6回) 4校(5回)	382名 199名	4校(4回) 6校(8回)	276名 237名	14校(14回) 11校(14回)	872名 476名
会津若松	2校(2回) 2校(2回)	52名 42名	1校(1回) —	22名 —	4校(5回) 6校(6回)	180名 305名	3校(3回) 4校(6回)	197名 163名	10校(11回) 12校(14回)	451名 510名
相馬	1校(2回) 1校(8回)	38名 76名	1校(1回) —	20名 —	— —	— —	1校(1回) —	63名 —	3校(4回) 1校(8回)	121名 76名
白河	4校(4回) 4校(4回)	96名 98名	1校(1回) —	14名 —	1校(1回) —	178名 —	1校(4回) 4校(7回)	105名 114名	7校(10回) 8校(11回)	393名 212名
合計	19校(25回) 16校(28回)	849名 695名	8校(8回) 4校(4回)	99名 44名	28校(31回) 20校(24回)	1,937名 1,491名	17校(20回) 20校(30回)	1,004名 1,073名	72校(84回) 60校(86回)	3,889名 3,303名

※ 青字は令和3年度実績。

■年金セミナーの実施状況 (大学・専門学校・特別支援学校)

実施月	大学・専門学校	学年	受講者	事務所名	特別支援学校等	学年	受講者	事務所名
5月	・ iwakiヘアメイクアカデミー	1~3	34	平				
6月	・ 福島学院大学(2回) ・ 太田看護専門学校(2回) ・ 白河厚生総合病院附属高等看護学院	2 2 2	106 80 32	東北福島 郡山 白河				
7月	・ 福島介護福祉専門学校 ・ 竹田看護専門学校 ・ 福島県農業総合センター農業短期大学校 ・ しらかわ介護福祉専門学校	2 2 1 2	12 34 43 10	東北福島 会津若松 白河 白河				
8月	・ 郡山健康科学専門学校	1	31	郡山				
9月	・ 福島県立テクノアカデミー郡山(2回) ・ ケイセンビジネス公務員カレッジ	2 1	54 14	郡山 郡山	・ 福島県立いわき支援学校 くぼた校 ・ 福島県立西郷支援学校	3 3	7 14	平 白河
10月								
11月	・ 福島学院大学	1	26	東北福島				
12月	・ 福島学院大学 ・ 温知会看護学院 ・ 白河准看護学院	1 2 2	47 18 11	東北福島 会津若松 白河	・ 福島県立だて支援学校 ・ 福島県立会津支援学校 ・ 福島県立相馬支援学校	3 2,3 3	7 22 20	東北福島 会津若松 相馬
1月	・ 郡山健康科学専門学校 ・ いわきコンピュータカレッジ ・ 福島県立テクノアカデミー浜(2回)	2 1,2 1	22 106 41	郡山 平 相馬	・ 福島県立須賀川支援学校	3	7	郡山
2月	・ いわき医療センター看護専門学校	1,2	81	平	・ 福島県立たむら支援学校(高等部) ・ 福島県立視覚支援学校	3 1~3	14 8	郡山 平
3月	・ 大原看護専門学校(DVD) ・ 郡山女子大学(DVD)	1 1	35 31	東北福島 郡山				

※ 青字はオンラインで実施

※ 紫字は動画(DVD)で実施

※ 受講者の単位は人数

■年金セミナーの実施状況（高等学校・中学校）

実施月	高等学校	学年	受講者	事務所名	中学校	学年	受講者	事務所名
7月	・ KTC学園おおぞら高等学院郡山キャンパス	3	24	郡山				
8月	・ 郡山女子大学付属高等学校(DVD)	2	119	郡山				
9月	・ 福島県立石川高等学校	2	28	郡山				
10月	・ 福島県立石川高等学校 ・ 学校法人尚志学園 尚志高等学校 (通信課程)	2 3	23 19	郡山 郡山	・ いわき市立植田中学校(DVD)	2	129	平
11月					・ 郡山市立安積第二中学校 ・ 天栄町立湯本中学校 ・ 南会津町立館岩中学校	2 3 3	114 2 13	郡山 郡山 会津若松
12月	・ 福島県立福島明成高等学校 ・ 福島県立福島南高等学校 ・ 福島県立郡山北工業高等学校 ・ 学校法人尚志学園 尚志高等学校(DVD) ・ 福島県立会津西陵高等学校 ・ 福島県立耶麻農業高等学校(DVD) ・ 福島県立白河実業高等学校	3 3 3 3 3 3 3	172 40 36 170 80 34 178	東北福島 東北福島 郡山 郡山 会津若松 会津若松 白河	・ 福島市立松陵中学校 ・ 川俣町立川俣中学校(DVD) ・ 須賀川市立小塩江中学校 ・ いわき市立内郷第三中学校 ・ いわき市立小名浜第二中学校(DVD) ・ 棚倉町立棚倉中学校(4回)	3 1 3 3 3 3 3	94 81 10 7 100 105	東北福島 東北福島 郡山 平 平 白河

- ※ 青字はオンラインで実施
- ※ 紫字は動画(DVD)で実施
- ※ 受講者の単位は人数

■年金セミナーの実施状況 (高等学校・中学校)

実施月	高等学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
1月	・福島県立梁川高等学校 ・福島県立保原高等学校(2回) ・福島県立安達東高等学校 ・学校法人聖光学院 聖光学院高等学校 ・福島県立福島西高等学校(DVD) ・福島県立岩瀬農業高等学校 ・福島県立清陵情報高等学校(DVD) ・学校法人国際学園 星槎国際高等学校 郡山学習センター ・福島県立郡山商業高等学校(DVD) ・福島県立いわき翠の杜高等学校 ・福島県立いわき湯本高等学校(遠野校舎) ・福島県立いわき翠の杜高等学校(定時制) ・福島県立小名浜海星高等学校(DVD) ・福島県立西会津高等学校 ・福島県立会津農林高等学校(2回)	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3,4 3 3,4 3 3 3 3	24 141 41 201 40 37 35 30 25 35 37 11 17 4 62	東北福島 東北福島 東北福島 東北福島 東北福島 郡山 郡山 郡山 郡山 平 平 平 平 会津若松 会津若松				
2月	学校法人昌平黉 東日本国際大学附属 昌平高等学校(通信制)	3	63	平	・川俣町立山木屋中学校 ・新地町立尚英中学校(DVD) ・須賀川市立義務教育学校稲田学園(DVD)	1~3 3 3	8 63 32	東北福島 相馬 郡山
3月	・福島県立田村高校(DVD)	3	153	郡山	・いわき市立江名中学校 ・河沼郡湯川村立湯川中学校 ・会津若松市立第四中学校 ・田村市立滝根中学校	3 3 3 3	40 20 164 22	平 会津若松 会津若松 郡山

※ 青字はオンラインで実施
 ※ 紫字は動画(DVD)で実施
 ※ 受講者の単位は人数

② 年金セミナー実施等に向けた具体的な取り組み

- 1 福島県教育庁(教育総務課・義務教育課・高校教育課)へ
「年金セミナー」開催に向けた協力依頼
・令和4年5月18日～5月25日 (代表年金事務所)
- 2 福島県校長会(中学校・高等学校)での「年金セミナー」開催に
向けた協力依頼
・令和4年5月26日 (代表年金事務所)
- 3 福島県内の学校へ「年金セミナー」開催等に向けた依頼文書を発送
・令和4年6月3日 (代表年金事務所)
- 4 「年金セミナー」開催に向けた地域年金推進員の訪問・電話による
アプローチ活動
・令和4年6月上旬～(通年) (県内全域)
- 5 福島県校長会 理事会(中学校・高等学校)での「年金セミナー」
開催に向けた協力依頼
・令和4年6月7日～10日 (代表年金事務所)
- 6 福島県内の学校へ「第3回福島県年金ポスターコンクール」および
「わたしと年金」エッセイ募集における依頼文書を発送
・令和4年6月22日 (代表年金事務所)
- 7 福島県内の学校へ今年度および次年度の「年金セミナー」開催等に
向けた依頼文書を発送
・令和4年10月～12月 (各年金事務所)



« 推進員による年金セミナーの様子 »
〈地域年金推進員の活動〉

各学校へ積極的にアプローチしていただき、
昨年より実施校数が60校から72校と
増加しました。

また、学校長経験者としての高いプレゼン
テーションスキルにより、年金セミナーの
講師や職員へのアドバイスなど、幅広く
ご活躍いただいております。

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいております。

③ 第3回「福島県年金ポスターコンクール」作品展の開催

公的年金をテーマとしたポスターの作成を通じて、生徒に年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成していくことを目的として、福島県内の中学生を対象とした「年金ポスターコンクール」を実施しました。

その結果、13校から31点の応募をいただき、各年金事務所およびコラッセふくしま(福島市)の展示スペースで展示を行いました。

年金事務所内での展示については、できるだけ多くの作品を展示できるよう、令和4年度は作品をデータ化したうえでA3サイズに印刷したものを各年金事務所の展示スペースで展示いたしました。

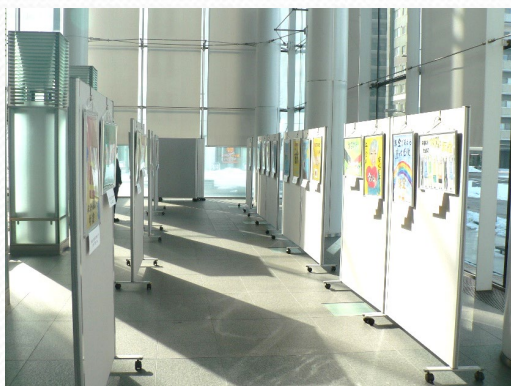
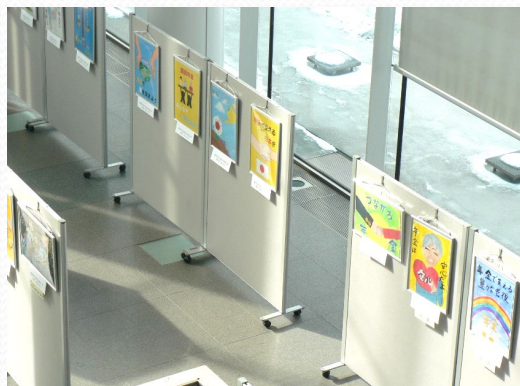
【募集期間】 令和4年6月1日～令和4年9月9日

【入 賞】 最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、入選(5点)

厚生労働省東北厚生局長賞〈特別賞〉(1点)、福島県社会保険協会長賞(1点)

【展示場所】 コラッセふくしま 1階アトリウム

【展示期間】 令和5年1月31日(火)～2月3日(金)



コラッセふくしまでの展示の様子



東北福島年金事務所での展示の様子

④ 特別支援学校で年金セミナー実施

県内の特別支援学校8校において、年金セミナーを実施しました。

障害年金制度や年金受給手続きの仕方などについて説明を行い、保護者や教職員に対しては、質疑応答の時間を設けるなど、制度への理解を深めていただき、保護者からは「丁寧に説明していただき、初めの一步を踏み出すことができた」などのご感想をいただきました。

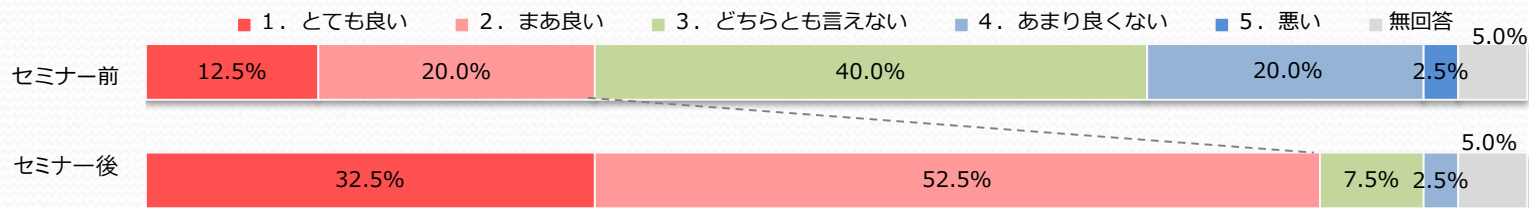


特別支援学校での年金セミナーの様子

⑤ 年金セミナーのアンケート結果（一例）

■ 年金に対するイメージ

Q. セミナーを受ける前と受けた後の「年金」に対するイメージはどうでしたか？



『とても良い・まあ良い』の評価は、セミナー前の 32.5% からセミナー後は85.0% になりました

■ ご意見・ご感想（一例）

- 資料に加え、先生がプラスαで教えて下さったことに興味が湧き、最後まで聴きやすかったです。
- 年金は遠い将来の話だと思っていたけれど、自分のために今からよく考えなくてはならないことがわかりました。
- 日本には課題がたくさんあることを改めて実感しました。1人ひとりの社会への取り組みが大切だと思います。

(3) 地域相談事業

① 出張年金相談の実施

遠方にお住まいの方で、年金事務所へお越しいただくことが困難なお客様のために、市町村での出張年金相談を開催しています。

広報については、市町村や福島県社会保険協会の広報誌に掲載いただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」に掲載して周知に努めています。

また、令和4年10月にはいわき市で行政評価事務所が主催する「一日合同行政相談会」において、出張年金相談を実施しました。

■ 市町村での出張年金相談

事務所名	開催市町	実施場所	相談日	開催回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	隔月第2木曜日	6回	30名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	毎月第2,4水曜日	21回	40名

② 大学構内における出張年金相談の実施

学生納付特例制度の申請を中心とした納付相談会を実施しました。

事務所名	実施日	実施場所	開催回数	相談者数
東北福島	令和4年11月17日、12月8日	福島学院大学	2回	5名
平	令和4年 7月21日、7月28日	医療創生大学校	2回	20名

(4) 年金委員活動支援事業

① 年金委員委嘱者数

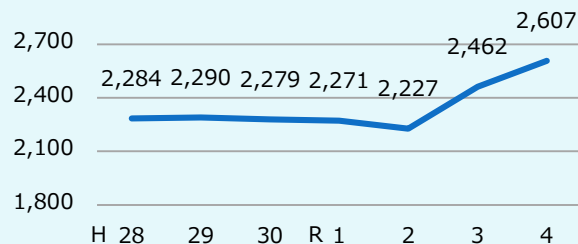
年金委員とは、政府が管掌する厚生年金保険および国民年金に関する適用・給付・保険料などについて、会社や地域において啓発、相談、助言などの活動を行う民間協力員です。

年金委員は活動により、職域型と地域型の2つに区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域において活動していただいています。

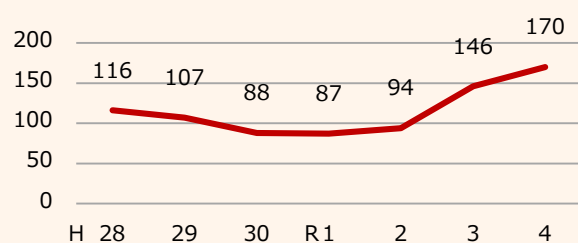
令和4年度の県内の職域型年金委員数は2,607名、地域型年金委員数は170名となり、前年度より職域型で145名増加、地域型で24名増加となりました。

事務所名	令和3年度末(A)			令和4年度末(B)			増減(B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	635	45	680	671	52	723	36	7	43
郡山	532	17	549	568	22	590	36	5	41
平	422	26	448	446	29	475	24	3	27
会津若松	418	22	440	440	26	466	22	4	26
相馬	205	9	214	220	11	231	15	2	17
白河	250	27	277	262	30	292	12	3	15
県内計	2,462	146	2,608	2,607	170	2,777	145	24	169

職域型年金委員の委嘱数の推移

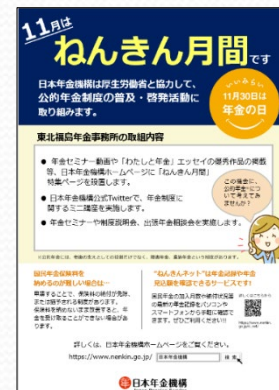
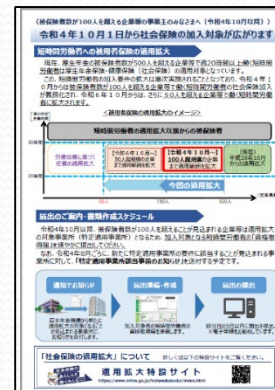


地域型年金委員の委嘱数の推移



② 年金委員活動にかかる具体的な取り組み

- 1 地域型・職域型年金委員へ国民年金保険料関連の制度周知および事業所の事務手続きなどのリーフレット送付
 - ・令和4年5～6月(各年金事務所)
- 2 地域型年金委員向け広報紙「支えあい」の送付
 - ・令和4年5月・8月・11月・2月発行(各年金事務所)
- 3 職域型年金委員向け広報紙「スマイル」の送付
 - ・令和4年8月・2月発行(各年金事務所)
- 4 職域型年金委員へ短時間労働者に対する健康保険・厚生年金保険の適用拡大のリーフレット送付
 - ・令和4年9月(各年金事務所)
- 5 「ねんきん月間」のポスター・リーフレット送付
 - ・令和4年10～11月(各年金事務所)
- 6 令和4年度 年金委員、健康保険委員、事業主表彰伝達式の実施
 - ・令和4年11月16日(代表年金事務所主体)
- 7 令和4年度「全国年金委員研修(TV会議)」の実施
 - ・令和4年11月2日(日本年金機構本部)
- 8 「アニュアルレポート2021」の送付
 - ・令和4年12月(代表年金事務所・各年金事務所)



③ 大規模事業所に対する年金委員委嘱拡大の取り組み

短時間労働者の適用拡大において、令和6年10月から制度改正の対象となる被保険者51人以上の事業所を対象に、職域型年金委員の委嘱拡大の取り組みを行いました。

特に、下期には依頼文書の送付や電話勧奨など重点的に取り組みを行い、福島県内で36名の委嘱に繋がりました。

④ 地域型年金委員研修会の実施

地域型年金委員に対しての研修会は、令和2年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での実施を見合わせておりましたが、令和4年度から、感染防止対策を徹底したうえで、対面やオンラインを活用して再開しました。

令和4年12月に実施した地域型年金委員会総会・研修会では、各年金事務所のTV会議システムを使用して、14名の方に対して研修会を行いました。

開催日	開催内容	研修テーマ	開催方法	受講者数
令和4年6月29日	地域型年金委員会 役員・理事会	「令和4年度 年金制度改正について」	対面	8名
令和4年12月7日	地域型年金委員会 総会・研修会	「被用者保険の適用拡大について」 「ねんきんネットについて」	非対面 (オンライン)	14名

⑤ 地域型年金委員連絡会(意見交換会)の実施

地域型年金委員と年金事務所間の情報共有、活動依頼、支援事項の伝達および地域型年金委員相互間の情報共有を図ることを目的として地域型年金委員連絡会(意見交換会)を定期的に実施しています。

事務所名	実施月	参加者数	主な研修テーマ
東北福島	12月	19名	令和4年度 年金制度改正について
郡山	12月	6名	年金制度改正(在職老齢年金等)について
	2月	5名	短時間労働者の適用拡大および在職老齢年金について
平	10月	2名	地域における年金委員の活動について
	12月	10名	年金制度について
会津若松	12月	14名	令和4年度 年金制度改正について
相馬	12月	5名	年金制度について
白河	12月	15名	国民年金加入と保険料について

(5) 地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築および地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、7月と1月に地域年金事業運営調整会議を開催しています。

7月の会議は、2年ぶりに対面会議での開催とし、資料に基づき福島県における令和3年度の地域年金展開事業の取り組み結果および令和4年度事業計画について、説明を行いました。

1月については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、書面開催となり各委員のみなさまへ資料を送付しました。



写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

3 「ねんきん月間」 「年金の日」の取り組み

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	11月の取り組み内容
福島県内年金事務所	令和4年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
福島県内年金事務所	令和4年度 「社会保険事務講習会」の実施(※1)
福島県内年金事務所	管内の学校で年金セミナーを実施
東北福島・会津若松	コミュニティFMを活用した年金制度説明の実施
郡山	年金受給説明会
会津若松	管内の事業所で年金制度説明会の実施
相馬	20歳到達者向け制度説明会
会津若松・相馬	出張年金相談の実施
会津若松・相馬・白河	新規適用事業所事務説明会の実施
東北福島・郡山・平・会津若松	管内市町村で制度説明会の実施

(※1)月をまたいだ取り組みも実施しています。

4 マスコミでの取り上げ状況(一部掲載)

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへプレスリリースを行った結果、各紙面へ掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和4年11月6日	福島民報新聞	「ねんきん月間」の取り組み
令和4年11月10日	福島民報新聞	令和4年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
令和4年11月15日	福島民友新聞	
令和4年11月17日	福島民友新聞	令和4年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式
令和4年11月30日	福島民報新聞	年金の日特集 「11月30日は年金の日」です
令和4年11月30日	福島民友新聞	
令和4年12月9日	福島民友新聞	第3回 「福島県年金ポスターコンクール」 審査結果発表
令和4年12月11日	福島民報新聞	
令和5年1月5日	福島民報新聞	第3回 「福島県年金ポスターコンクール」 授賞式
令和5年2月3日	福島民報新聞	第3回 「福島県年金ポスターコンクール」 作品展

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

5 県内各年金事務所の主な取り組み状況

東北福島年金事務所

地域連携事業

■ねんきんネットの利用拡大

管内市町村を中心にねんきんネットの利用拡大に向けて協力依頼を行いました。

その結果、リーフレットの窓口設置のほか、福島市役所において全戸配布(14,000枚)いただき、幅広い年代の方々にねんきんネットの利便性を周知することができました。

また、月1回の地域FM内でもねんきんネットの登録方法などを説明し、周知に努めています。

年金セミナー事業

■学生向け年金セミナーの実施

実施数 15校19回

令和4年度実施数は、昨年度より3校4回増加しました。対面での実施も増えており、若手職員が積極的にセミナー講師を行っています。

就職する生徒が多くいる高等学校では、厚生年金の仕組みを詳しく説明するなど、学校の特性にあわせた内容にすることで興味を持って受講できるよう工夫しています。

年金委員活動支援事業

■年金委員活動支援の取り組み

職域型年金委員については、令和4年度より広報誌「スマイル」を新たに発行して、制度改正等をよりわかりやすく周知しています。

地域型年金委員については、地域型年金委員会と連携して研修会を実施するなど、制度周知を図るとともに、委員同士の交流や意見交換を行いました。

郡山年金事務所

地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施

実施数 31回(内オンライン11回)

令和4年度は、市町村担当者や新規加入事業所担当者向けにweb会議ツールを積極的に活用し、制度周知と制度説明会の定例化に努めました。

年金セミナー事業

■ 学生向け年金セミナーの実施

実施数 23校26回(内DVD6校)

生徒の皆さんと年齢が近い若手職員を中心に、公的年金の制度、理念を理解してもらえよう生徒参加型のセミナーに取り組んできました。生徒の皆さんからは、「20歳からの加入と納めていくことの重要性がわかった」との声をいただきました。

年金委員活動支援事業

■ 年金委員活動支援の取り組み

研修実施数 11回

地域型・職域型年金委員の皆さんに、職場、地域の中での活動の参考としていただくよう、年金制度の改正内容を中心に説明会を行いました。

平年金事務所

地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施

実施数 19回

市町村国民年金担当者への制度説明会、企業向け年金制度説明会等を実施し、制度周知に取り組みました。

年金セミナー事業

■ 学生向け年金セミナーの実施

実施数 14校14回

中学校、支援学校を含めた幅広い教育機関での年金セミナーが実施できました。

支援学校においては、教職員、父兄ごとのセミナーも実施でき、有意義なものとなりました。

年金委員活動支援事業

■ 年金委員活動支援の取り組み

地域型年金委員を対象に研修会を2回実施し、10名参加いただきました。

職域型年金委員については、1回研修会を実施し151名参加いただきました。



会津若松年金事務所

地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施

実施数 58回

月2回のオンラインでの市町村への制度説明会、月1回の地域FMで年金制度説明の放送、離職者向けパソコン教室での年金セミナーと多くの制度説明会を実施し、地域住民への制度周知に取り組みました。

地域相談事業

■ 出張年金相談会の実施

実施数 6回(喜多方市)

当該市と連携し、年金事務所より遠方にお住まいのお客様のニーズに応えるため、喜多方市役所にて年金相談窓口を偶数月に1回開催いたしました。

年金セミナー事業

■ 学生向け年金セミナーの実施

実施数 10校11回

中学生から専門学校生のみなさんに対し、年金制度は身近で重要であることを学んで頂くよう活動しました。実施後のアンケートを見ると重要性がわかった等、概ね好評なご意見をいただいています。

年金委員活動支援事業

■ 年金委員活動支援の取り組み

地域型年金委員を対象に制度改正についての研修会を対面方式で開催し、14名参加いただきました。

来年度以降も年2回の開催に取り組みます。

職域型年金委員については、年2回の研修会の開催と委員委嘱拡大に取り組みました。

相馬年金事務所

地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施

実施数23回

関係機関(団体)主催の年金制度説明会も含め、制度説明会に講師を派遣しております。

管内自治体との連携を深め、公的年金制度の周知・啓発に努めます。

年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施

実施数 3校(4回)、DVD1校

今後も各学校に積極的に開催の働きかけを行い、受講者の方により年金制度の理解を深めてもらえるようさらなる充実を図っていきます。

地域相談事業

■ 出張年金相談会の実施

実施数21回(南相馬市)

毎月予約制により実施しております。

相談に来られた方からは近いところで相談ができるということで好評を得ており、今後も継続して行います。

年金委員活動支援事業

■ 年金委員活動支援の取り組み

地域型年金委員を対象に制度改正についての研修会(1回)を対面で実施しました。

職域型年金委員については、制度説明会(3回)を対面で実施しました。

来年度も継続して取り組みます。

白河年金事務所

年金セミナー事業

■ 学生向け年金セミナーの実施

実施数 7校10回

学生のみなさんが年金制度の知識を深め、その必要性を理解していただくことを目的に、中高生、専門学生にセミナーを実施しました。

セミナー受講後には、「障害年金、遺族年金があることを知れてよかった」等の感想をいただきました。

特に専門学生を対象とした20歳到達者向けの説明には、「年金の加入と納付の必要性が理解できた」との感想も多数いただきました。

地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施

実施数 21回

市町村の国民年金事務担当者や新たに社会保険に加入した事業所の事務担当者向けに説明会を実施し、地域や企業の中での年金制度に対する理解を深めていただくよう制度周知に取り組みました。

年金委員活動支援事業

■ 年金委員活動支援の取り組み

職域型、地域型年金委員に対し、年金委員活動に必要な広報誌等の情報提供を行うとともに、制度改正等の研修会を実施しました。

また、地域型年金委員の連絡会を開催し、意見交換を行うことにより、委員活動の活性化に繋がるよう取り組みました。

6 各事業における総括

事業種類	総括・今後の対策
地域連携事業	○年金制度説明会の実施 令和4年度の年金制度説明会については、191回開催し、前年度より89回増加しました。そのうち、Web会議サービスを使用したオンラインでの制度説明会は全体の約30%を占め、関係機関・団体等を中心に持続可能な取り組みとして定着してきています。 オンライン説明会では、相手方の顔が見えづらく一方通行になってしまう懸念があるため、質疑応答の時間を作って理解度を確認しながら開催したり、事前に書面で質問を募る等、より研修内容の充実を図ります。 ○ねんきんネット利用促進 各関係機関様でのチラシ設置のほか、チラシの市内全戸配布や事業所従業員への周知を通して利用促進を図りました。令和4年度は福島県内で約14,000人の新規ID取得につながり、全国では令和4年度末908万人の方にご利用いただいています。年金事務所、コールセンターと並ぶ第3の窓口として確立させていくため、今後も利便性を周知し利用促進を図ります。
年金セミナー事業	○年金セミナー実施 令和4年度の年金セミナーは、72校(84回)で実施し、前年度より11校増加しました。特に、特別支援学校においては、前年度より4校増の8校でセミナーを実施しました。対生徒だけでなく、保護者や教職員向けの説明時間や相談時間を設けることで、より年金制度や手続きの理解へ繋がりました。 なお、学校側からは対面実施での要望が多く、対面での実施が昨年度比20校増加しており、引き続き、学校の要望に沿った実施方法を提案しながら、講師育成にも努めます。

事業種類	総括・今後の対策
地域相談事業	○出張年金相談の実施 会津若松管内で6回、相馬管内で21回の出張相談を実施しました。 年金事務所へお越しいただくことが困難な方からの需要があるため、今後も継続して関係機関の協力をいただきながら実施してまいります。 また、大学構内における納付相談会やイベント会場における出張年金相談を実施しました。 気軽に相談できる場所として、商業施設やイベントでの相談会開催ができるよう模索していきます。
年金委員活動支援事業	○年金委員の委嘱拡大 令和4年度は、職域型年金委員が2,607名、地域型年金委員が170名となり、前年度より職域型年金委員で145名増加、地域型年金委員で24名増加となりました。 職域型年金委員は、基幹業務の依頼と併せて事務担当者へ直接アプローチしたことや、積極的に文書および電話勧奨を行ったことで委嘱に繋がりました。 地域型年金委員は、福島県社会保険労務士会や市町村からの委嘱協力をいただきましたが、引き続き関係団体のご協力をいただきながら、年金委員の認知度拡大の取り組みを行ってまいります。 ○年金委員研修会の実施 令和4年12月に、令和2年2月以降見合わせていた県全体の研修会を、約3年ぶりに開催しました。 また、各事務所において意見交換会も開催し、事務所との繋がりを強化していくためにも、定期的を開催してほしいとのご意見をいただいたところです。 今後も、対面のほかにWeb会議ツールを使用したオンラインでの研修会などの充実を図りながら、年金委員に対してきめ細かな活動支援を行ってまいります。

■ 第20回会議(書面開催)にかかる主なご意見と回答

事業種類	ご意見	回答
地域連携事業	○年金制度説明会の実施について オンラインによる実施で参加しやすい環境が整ったと思うが、一方的な説明ではなく質問の時間を設けるなどし、双方向による形式とした方が有意義なものになるのではないか。 ○周知広報について 業種別組合を支援している団体を通して広報することも効果が図れるのでは。	ご要望に応じて質疑応答の時間を設けて開催し、より有意義な時間となるよう工夫していきます。 令和5年度は、ご提案の当該団体に対し、制度の周知広報についてご協力をいただけるよう協力依頼をします。
年金セミナー事業	○周知広報について 計画的な年金教育という観点に立つならば、周知の時期は前年度の秋頃が効果的と考える。	各教育機関様のご協力をいただきながら、年度初めのほか、秋頃に次年度に向けたセミナー実施の協力依頼を行います。
年金委員活動支援事業	○年金委員活動の支援について 研修会や意見交換会が重要と考えるため、実施をお願いしたい。	上期と下期の各期において、研修会や意見交換の場を設け、活動支援を行うとともに事務所との繋がりを強化してまいります。

※ご意見いただいた一部の内容について紹介しております。